

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	海上輸送の環境性能向上のための総合対策		担当部局	海事局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H21/H24(予定)		担当課室	総務課 船舶産業課 安全基準課			技術企画官 吉田 稔 課長 今出 秀則 課長 平原 祐	
会計区分	一般会計		施策名	地球温暖化防止等の環境の保全を行う				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	国土交通省成長戦略海事分科会報告				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	地球温暖化防止への取組が喫緊の課題となっている中、運航コストの低い船舶の選択・開発技術の差別化を可能とする実際の運航状態での船の燃費を設計段階で評価できる指標の開発(環境性能の視覚化)と国際標準化等を総合的に実施し、船舶からのCO2排出削減の基盤を整備する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	従来統一的手法がなかった実海域を航行する船舶の燃費を評価できる手法を開発し、これを基に、実際の海象・運航状態における船舶の燃費(CO2排出量)を示す指標を開発するとともに、指標の信頼性、公正性を担保するための認証システムを構築する。併せて、燃費性能の維持・向上を図りつつ、NOxを劇的に削減する船用エンジンの開発等を一体で推進する。 また、IMOにおける環境規制に関する議論の主導するとともに、国際条約等に基づく船舶からのNOx規制に対処する。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	119	89	74	45	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	119	89	74	45	
	執行額			115	86			
執行率(%)			96.9%	96.8%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	環境対策を実施する上で必要となる基礎的技術開発を目的とした研究であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	環境対策を実施する上で必要となる基礎的技術開発を目的とした研究であり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績 (当初見込み)				()	()
単位当たりコスト	(円 /)		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	技術研究開発謝金	0	0	平成24年度は、これまで実施したNOx排出量80%削減を目的とした技術開発・実証実験の結果を踏まえ、平成24年度はNox規制(3次規制)に向けた技術的検証に重点化して行うため、減額要求となった。				
	技術研究開発調査旅費	2	3					
	技術研究開発委員等旅費	0	0					
	技術研究開発調査費	7	2					
	技術研究開発委託費	64	39					
	計	74	45					

86			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>外部支出(委託費)については、企画提案を募集する際の提案要領について汎用性を高めることにより、多様な提案から最も効果的な研究開発方法を選択すると共に、仕様書の作成時には、研究開発の目的を適確に達成するための無駄のない実施方法について検討を行い、同じ予算で、さらに大きな成果を引き出すよう引き続き努める。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 前回の指摘を踏まえ事業の抜本的見直しを行い、平成23年度予算では3本あった事業のうち2本を廃止し「船舶からの環境負荷低減のための対策事業」に重点化するとともに、予算額を減額した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		社会的ニーズの把握に努め、ニーズの高い調査を優先するなど、事業の重点化を図るよう改善すべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
SCR認証に係る評価方法の確立に重点化して事業実施。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

平成22年度実績を記入

国土交通省
83百万円

旅費、委員等旅費、謝金
6百万円

国の行政に必要な技術的知見を得るための研究開発に必要な調査等を実施

【企画競争】

A.(独)海上技術安全研究所
33百万円

海上輸送の安全確保及びその高度化、海洋環境の保全、海洋開発に資する研究開発を実施

【企画競争】

B.三菱重工業(株)
49百万円

SCR脱硝装置に係る実船搭載を目指した調査、分析

【外部委託】

C.㈱赤阪鐵工所
4百万円

実験機関の運転・保守

D.MHIソリューションテクノロジーズ㈱
11百万円

尿素水間接噴霧装置試作

E.国立大学法人東京海洋大学
3百万円

実験機関、試験装置の運転・保守並びに噴霧装置の改良検討

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. 海上技術安全研究所			D.MHIソリューションテクノロジーズ(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)		使途	金額 (百万円)
	その他	物品購入等	30	人件費	装置製造に係る職員給与	6
	人件費	研究補助者	3	材料費	装置材料	3
				その他	一般管理費	2
	計		33	計		11
	B.三菱重工業(株)			E.国立大学法人東京海洋大学		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	外部委託費	実験機関の運転保守、実験装置の試作	17	人件費	研究補助者	2
	人件費	研究補助者	7	その他	物品購入等	1
	旅費	調査旅費	1			
	その他	物品購入、諸経費等	24			
	計		49	計		3
	C.(株)赤阪鐵工所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
人件費	研究補助者	4				
旅費	調査旅費	0				
計		4	計		0	

支出先上位10者リスト

A.海上技術安全研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)海上技術安全研究所	船舶に係る技術並びに当該技術を活用した海洋の利用及び海洋汚染の防止に係る技術に関する調査、研究及び開発	33	随意契約	100
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.三菱重工業(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱重工業(株)	ボイラ、タービン、ガスタービン、ディーゼルエンジン、水車、風車、原子力装置、原子力周辺装置、排煙脱硝装置、船用機械、海水淡水化装置、ポンプ等の設計、製造、販売、サービス及び据付等	49	随意契約	100
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.(株)赤阪鐵工所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)赤阪鐵工所	船用内燃機関の製造・販売等	4	1	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.MHIソリューションテクノロジーズ(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	MHIソリューションテクノロジーズ(株)	環境測定、反応解析、プロセス設計・製作、化学装置製作、計装設計	11	1	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E.国立大学法人東京海洋大学

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人東京海洋大学	海洋に関する総合的教育研究	3	1	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					